

一般書リクエスト図書リスト 2020



白金図書館で初めての一般書リクエストを募集し、
小説はもちろん、ビジネス書、実用書まで
バラエティー豊かな 36 冊が集まりました。

北里大学 白金図書館

2020 年 6 月 9 日

【薬学部】

薬物治療学 IV 安藤航先生

1. 「ゼロから作る Deep Learning —Python で学ぶ ディープラーニングの理論と実装」

斎藤康毅著, オライリージャパン

請求記号：549.92/Sa25d/v.1



<先生コメント>

医療の分野においても AI（人工知能）は注目され、身近なところでは薬の監査や副作用発現の傾向を分析したり、さまざまに仕事や研究に応用できる可能性があります。現在、多種多様な認定・専門薬剤師が登場していますが、このような分野の専門薬剤師がいてもいいのではと内心想っています。

難しそう！と誰もが思う分野であり、専門性としては相当に偏っていますが逆にチャンスです。

2. 「ゼロから作る Deep Learning ② —自然言語処理編」

斎藤康毅著, オライリージャパン

請求記号：549.92/Sa25d/v.2



<先生コメント>

ゼロから作る Deep Learning の続きの本ですね。この本から臨床に繋げていけるとと思います。近年、急速に発展してきた自然言語処理の裏側を知ることができます。前書に比べてかなり難しいですが、その分、この仕組みが使えたら便利なんだろうと想像も膨らみます。自然言語処理を理解することを通して、身近に溢れている便利なアプリや Web サービスがどのように動いているかを実装を通して知ってもらえればと思います。

生薬学 小西成樹先生

1. 「心理学 新版」

無藤隆, 森敏昭, 遠藤由美, 玉瀬耕治著, 有斐閣

請求記号：140/Mu93



<先生コメント>

薬剤師業務は“対物”から“対人”へと切り替わり、医療人として人と関わる上で基本的に持つべき資質として心理、倫理、コミュニケーションに関わるヒューマンスキルも求められています。本書は臨床、医療心理学の元となる心理学の一般的な知識が包括的に得られ実験例も分かりやすく説明されています。1年次の一般教育科目で心理学を学び、さらに深く知りたい学生にもオススメです。

2. 「社会心理学 補訂版」

池田謙一, 唐沢穰, 工藤恵理子, 村本由紀子著, 有斐閣

請求記号：361.5/I32



<先生コメント>

現代人の病気には社会的要因によるストレスや不安も密接に関わっています。薬剤師が薬を通じて人とコミュニケーションを取る時には、その人の背景を理解することも重要になります。薬剤師として社会とはどのように関わっていけば良いのでしょうか?社会心理学とは社会環境の中で人や集団がどのような行動をするかを研究する学問です。心理学をさらに専門的な視点で学びたい人向けの書籍になります。

3. 「ついていきたい」と思われるリーダーになる 51 の言葉」

岩田松雄著，サンマーク出版

請求記号：L/I10



<先生コメント>

仕事や勉強で経験を積むと誰かに教えたり伝えたりしなければならない場面が出てきます。本書はリーダシップの実践法を示しており、信頼関係の築き方や人間力を高めることについて述べています。部下や後輩を持つことになりコミュニケーションを取る時や one team で成果をあげていく時に読むと効果的な本だと思います。

4. 「メール文章力の基本 大切だけど、だれも教えてくれない77のルール」

藤田英時著，日本実業出版社

請求記号：L/F1



<先生コメント>

ビジネスメールを送る際に必要な最低限のマナー本です。「良い文例・悪い文例」を対比する構成となっており分かりやすく記載されているので、作成したメールに大きな間違いはないか再確認する時に使えます。就職活動や実習でメールのやり取りをする学生の皆さんにも役立つと思います。白金図書館蔵書の「伝わるメールが「正しく」「速く」書ける 92 の法則」も合わせてご覧ください。

5. 「アンサンブリングシンデレラ」

荒井ママレ著；富野浩充医療原案， コアミックス
請求記号：L/A7/v.1-v.4



<先生コメント>

白金図書館の蔵書で初のコミックになります。アンサンブリングシンデレラは病院薬剤師にスポットを当てた漫画で、石原さとみ主演のドラマ化も予定されています。漫画には過度な表現も含まれますが、本学の同期の卒業生によると薬局・病院実習の課題だけでは分からない現場の出来事をイメージできるとのこと。実習前・後で読んでみても視点が変わるかもしれません。活字がどうしても苦手だという学生も手軽に読んでみてはいかがでしょうか？

6. 「経済政策で人は死ぬか?: 公衆衛生学から見た不況対策」

デヴィッド・スタックラー， サンジェイ・バス著；橘明美，
白井美子和訳， 草思社
請求記号：L/S27



<先生コメント>

コロナウイルス対策には医療現場体制の整備や有効な医薬品・ワクチンの開発が求められています。それと同じく経済対策のあり方も人の死活問題にも直結する重要な課題であり、人々が健康的な生活を取り戻すために必要です。本書は過去の不況下で取り組まれた経済政策がどのような成果をもたらしたのかを統計データを元に検証する一冊です。

7. 「ブックデザイン 365」

パイインターナショナル編, パイインターナショナル
請求記号：L/P2



<先生コメント>

みなさんはどのような理由で本を買いますか?勉強に必要だからでしょうか?好きな作家の最新作だからでしょうか?それとも文学賞に選ばれるなど流行や話題に上がっているからでしょうか?本書では主に 2015~2020 年の間に刊行された書籍の中から、人を惹きつける魅力的な 365 冊以上の本の装丁(ブックデザイン)を掲載しています。この本を開けばあなたも思わず欲しくなる書籍が見つかると思います。

8. 「フェイクニュースがあふれる世界に生きる君たちへ:

世界を信じるためのメソッド」

森達也著, ミツイパブリッシング

請求記号：L/M11



<先生コメント>

コロナ禍ではトイレット ペーパー騒動などの多くのフェイクニュースがネットや SNS を通じて拡散され、人々を過剰な社会不安やパニックに陥れました。改めてメディア(新聞・テレビ・ネットなどの情報伝達手段)を主体的に読み解くことが大事になり、そのような情報を取捨選択する力は研究者や薬剤師が正しく必要な知識を得て仕事に生かす能力にも繋がります。本書はそのメディアリテラシーについてわかりやすく述べた一冊です。

9. 「わたしたちのウェルビーイングをつくりあうために

その思想、実践、技術」

渡邊淳司, ドミニク・チェン監修; 安藤英由樹著,

ビー・エヌ・エヌ新社

請求記号: L/A6



<先生コメント>

ウェルビーイングとは心身ともに健康な状態を指し、社会的にも満足した生活を送れる状態を満たすことを意味しています。健康的な生活の確保に貢献する薬剤師の仕事は人々を幸福な状態で満たし、モチベーションや生産性の向上に繋げる役割を担っています。本書はウェルビーイングの定義に始まり、それをどのように作り上げていくのかのアプローチが記されています。

10. 「いちばん大切なのに誰も教えてくれない段取りの教科書」

水野学著, ダイヤモンド社

請求記号: L/M8



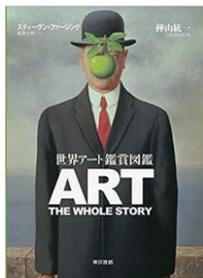
<先生コメント>

いくつものタスクを並行しながらスケジュールを組んで仕事を順調に行うには段取りが必要です。しかし実際にどのようにすれば段取り良く物事をこなすことができるのかを学ぶ機会はありません。本書ではくまモンなどのプロジェクトを手がけてきたクリエイティブディレクターが段取りについて教えます。多くの試験科目を勉強しなければならないPPの学生や実験や学会発表、就活の両立する大学院生にもおすすめします。

11. 「世界アート鑑賞図鑑」

スティーヴン・ファージング編集；樺山紘一日本語版監修，
東京書籍

請求記号：L/F2



<先生コメント>

北里大学は近代医学に自然と芸術を融合させた「ヒーリングアート」をコンセプトに大村記念館や北里大学メディカルセンター内などに心を落ち着かせる多くの絵画が飾られています。優れたアーティスト作品の職人技は研究者の探究心や見やすいプレゼンテーション資料作成などにも通じる一面があります。この書籍には紀元前から現代までの幅広いアート写真が網羅的に載っています。自分の見てみたい絵を探す時にも使える一冊です。

12. 「[フォトミュージアム]ユネスコ 世界の無形文化遺産」

マッシュモ・チェンティーニ著；岡本千晶訳，原書房

請求記号：L/C3



<先生コメント>

コロナ禍では気軽に海外に行くことが困難な状態が続いています。この本ではユネスコが失われつつある伝統や文化を保護し次世代へ伝えていく目的で、珍しい無形文化遺産にフォーカスを当てた写真が多く掲載されています。読むと平和に旅行ができる世の中が戻ってきた時に一度見てみたいと思う無形文化遺産があるかもしれません。

13. 「一度は行きたい! 日本の世界遺産」

ぴあレジャーMOOKS編集部編, ぴあ
請求記号: L/T8



<先生コメント>

コロナウイルスが終息した後は、旅行を楽しみたい! という人は大勢いると思います。この本では日本の23件の世界遺産を美しい写真とともに掲載。令和に入ってから百舌鳥・古市古墳群が追加されました。旅行好きな学生でも、学会や出張の多い先生でもまだ訪れていない場所があれば、この本を元に決めておくのも良いかもしれません。

14. 「見るだけでわかる! ビジネス書図鑑 これからの教養編」

荒木博行著, ディスカヴァー・トゥエンティワン
請求記号: L/G1



<先生コメント>

教養を深めるために読書をすると言っても、どの本から手をつけたら良いか迷うといったことはないでしょうか?この書籍では話題のベストセラー一本から古典、哲学書などを網羅的に紹介しています。ピックアップされていた本の中から興味が湧いた分野の教養を得る糸口となればと思います。

15. 「シン・ニホン AI×データ時代における日本の再生と人材育成」

安宅和人著，ニュースピックス

請求記号：L/A5



<先生コメント>

25万部の名著「イシューからはじめよ」の続編である本書。コロナウイルスに打ち克った後に世の中の変化をどのように捉えれば良いのか？取り巻く世界の中で日本の現状をどう考えるのか？日々進化するAI×データ時代を生き抜くために薬剤師が何を考えなければならぬのか、必要になる考え方の指針の一つとして役立つと思います。

16. 「読書をプロデュース」

角田陽一郎著，秀和システム

請求記号：L/K15



<先生コメント>

近年では動画やSNSが発達したことで活字離れが深刻化し、大学生や社会人の読書量は減少していると言われています。本書は読書を普段しない人や苦手な人に向けて“バラエティ読み”という読書法を解説しています。この本を読めば読書に対する捉え方や取り組み方を変える一つのきっかけとなると思います。

【職員】

薬剤部 鹿島絵里さん

1. 「サピエンス全史」

ユヴァル・ノア・ハラリ著；柴田裕之訳，河出書房新社
請求記号：L/H7/v.1-v.2



<先生コメント>

言わずと知れた世界的大ベストセラー。本屋はもちろんメディアというメディアが『サピエンス全史』一色だった。最近でも人気芸人による You Tube 上の解説動画が話題となり、またこのコロナ禍に著者ユヴァル・ノア・ハラリ氏の寄稿が注目されるなど、一時のブームに終わらない存在感を見せる。遅まきながら読んでみようと思寄りの図書館へ足を運べば、今でさえ 700 人待ちというから驚きだ。待てない方は白金図書館で。

2. 「波紋と螺旋とフィボナッチ」

近藤滋著，KADOKAWA
請求記号：L/K13



<先生コメント>

数理モデルに疎くたって大丈夫。天才アランチューリングから荒木飛呂彦にみのもんた、はたまた大阪のおばちゃんまで登場する自然科学のエッセイ。カタツムリや貝が相似形を保ったまま成長する仕組みや縞模様と斑点模様の関係の関係を軽快な語り口調と圧倒的な雑学バックグラウンドでぐいぐい読ませしてくれる。コラム 3「研究論文や申請書におけるジंकピリチオン効果について」は思わず吹いてしまう面白あるある。ここだけでも是非。

3. 「失われてゆく、我々の内なる細菌」

マーティン・J・ブレイザー著；山本太郎訳，みすず書房
請求記号：491.7/B55

<先生コメント>



マーティン・J・ブレイザー著
失われてゆく、我々の内なる細菌
山本太郎訳
みすず書房

『マイクロバイオームの世界』『あなたの体は9割が細菌』と並んで Amazon で高評価のマイクロバイオーム領域の一冊。「痩せる菌アッカーマンシア・ムシニフィラを 効率よくお腹に宿す方法はないかしら？」などと考える腸内細菌ミーハーのあなたに薦めたい。この三冊を読み終える頃にはミーハーダイエッターを卒業して明日の医療を考える頼もしい人材になること間違いなし(?)。他二冊はすでに白金図書館にあります。

4. 「土の文明史」

デイビッド・モンゴメリー著；片岡夏実訳，築地書館
請求記号：L/M10



<先生コメント>

「根は腸であり腸は根なのだ！」と、生物学寄りにまとめられた『土と内臓』の著者デイビッド・モンゴメリーによる社会学寄りにまとめられた一冊。ハーバーボッシュ法は人類史上最大の発明の一つであることは間違いないが、次の一手を考えるときに来ているのではないかと考えさせてくれる。もう一冊、『土・牛・微生物』と言うのが2018年に出ていた。知らなかった。これもリクエストすればよかった…。

匿名

1. 「ヒョンナムオッパへ」

阿部紘久著，日本実業出版社

請求記号：L/C2



<職員コメント>

韓国で100万部超を売り上げ、22の国と地域で翻訳された『82年生まれ、キム・ジヨン』は、多くの人にとって遠くにあったフェミニズムを一気に「自分事」に引き寄せる作品でした。少女時代のスヨンの「読んだ後、何でもないと思っていたこと、女性という理由で受けてきた不平等なことが思い出され、急襲を受けた気分だった」という発言は象徴的です。もっとこのジャンルの本を読もうと思い、本書をリクエストしました。

【大学院生】

1. 「革命前夜」

須賀しのぶ著，文藝春秋

請求記号：L/S24



<院生コメント>

第18回大藪春彦賞受賞作！未読でしたが書店店頭で見かけた際、登場人物たちが学生ということで比較的歳が近く、けれどもベルリンの壁崩壊前後という混乱期を生きているところに興味をひかれました。ドイツ、ピアノ、ヴァイオリン、オルガンといったモチーフも注目ポイントです。

作家朝井リョウさんの推薦作でもあり、図書館で読むのが楽しみです。

2. 「氷」

アンナ・カヴァン著；山田和子訳，筑摩書房

請求記号：L/K14



<院生コメント>

近代の海外 SF・幻想文学作品、不朽の名作と名高い。

作者のアンナ・カヴァンは日本でいうと、川端康成とほとんど同時代に生きた人です。

『ビブリア古書堂の事件手帖』や『バーナード嬢曰く』でも紹介されていたらしいですね。

世界の終末をテーマにしながらも、パニックや混乱より諦観を感じさせる触れ込みに惹かれましたが、実際のところどうなのか、これから読んで確かめてみたいと思います。

3. 「青くて痛くて脆い」

日本薬剤師会編，薬事日報社

請求記号：L/S25



<院生コメント>

住野よるさんの作品が好きであることから推薦させていただきました。

この小説は映画化が決まっており、吉沢亮さん杉咲花さんによって実写化される作品です。

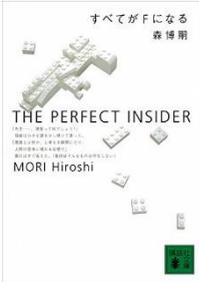
以前から読みたいと思っていた作品であったことや、実写化が決まっていることから是非皆さんにも読んでいただきたいと思い推薦させていただきました。

【薬学部学生】

1. 「すべてが F になる」

森博嗣著，講談社

請求記号：L/M7



<学生コメント>

この作品は、ドラマ化・アニメ化された森博嗣の理系ミステリーの代表作と言える作品です。この小説の魅力は、ストーリーもそうですが、キャラクターのセリフにもあります。私が特に好きなセリフは、犀川先生が言った「本当は考えることだけが自由なんだ」です。ページをめくる度、この様な”ハッ”とさせられる言葉達が読み手を小説の世界へ誘っていきます。

ミステリー、哲学系が好きな方は是非読んでみて下さい！

2. 「クジラアタマの王様」

伊坂幸太郎著，NHK 出版

請求記号：L/I7



<学生コメント>

伊坂幸太郎のパラレルワールドものが気になって今回推薦しました。この作者の小説には、「関係のなさそうな短編物語が最後に繋がる」ものや、気持ちのよい伏線回収が魅力の作品が多くあります。そんな方がつくるパラレルワールドはいったいどんなワクワクが詰まっているのか、是非いろいろな方に、確かめてみてほしいです。漫画が挿入されているという情報も目にしました。どんな使われ方がされているのかも楽しみです。

3. 「AI vs 教科書が読めない子どもたち」

新井紀子著，東洋経済新報社

請求記号：L/A4



<学生コメント>

近年、映画でも題材にする作品が多くなっている、「AI」。AIは私たちの生活をより豊かに、便利してくれるものである反面、人間より賢いことから我々を淘汰する存在となる、脅威とも言えるでしょう。私たちがAIと共存する為に身につける必要があるスキルをこちらの著書で学ぶことで、これからの先進未来も自信を持って、自らの足で歩めるのではないのでしょうか。

4. 「食事のせいで死なないために」

マイケル・グレガー，ジーン・ストーン著；神崎朗子訳，NHK出版

請求記号：L/K12



<学生コメント>

私たち薬学部生は、医薬品について日々多くを学んでいます。

しかし、医薬品よりもっと身近にある「食事」について、あなたはどのくらい知っているのでしょうか？この本は、私たちが病院に行かなくても出来るような日頃のライフハックが満載です。

日々の生活の中で気を付けられるところを意識して改善することで、おじいちゃんおばあちゃんになっても、健康的で楽しい生活が送れるのではないのでしょうか。

5. 「恋する寄生虫」

山口俊晴監修，へるす出版

請求記号：L/M9



<学生コメント>

極度の潔癖症により誰とも人間関係を築けず孤独に過ごす青年・高坂と、視線恐怖症で不登校の女子高生・佐薙。何もかもが噛み合わない二人は、社会復帰に向けてリハビリを共に行う中で惹かれ合い、やがて恋に落ちる。しかし、彼らは知らずにいた。二人の恋が、<虫>によってもたらされた「操り人形の恋」に過ぎないことを。不器用な二人が織り成す、切なくも美しいラブストーリー。

6. 「フーガはユーガ」

伊坂幸太郎著，実業之日本社

請求記号：L/I9



<学生コメント>

私が初めて伊坂幸太郎さんの本と出会ったのは、中学一年生のときです。書店で何気なく手に取った本が「砂漠」という作品でした。『世界はきっと変えられる。信じることから全てが始まる』というキャッチコピー。思わず一息に読んでしまいました。それから、「重力ピエロ」や「終末のフール」など多くの作品を読み、どの本でも気づいたら伊坂ワールドに引き込まれてしまいます。今回「フーガはユーガ」を推薦いたします。私も早く読みたいと思うと共に、皆さんにもぜひこの伊坂ワールドを体感していただきたいです。